

2010年 8月10日
No 1026号
働くルールの確立で
人間性の回復を

明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団
連絡先 〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
H P http://meinyu-suogi.web.infoseek.co.jp

「9・10東京地評争議支援総行動」 明治ホールディングス前は昼メーン行動



組んでい
いに全力
筋を切り
決への確
突破と、
企業体質
を深め、
運動の前
の前進に
を深め、
企業体質
を深め、
運動の前
の前進に
を深め、
企業体質
を深め、

私たちが
これら全
国の運動
の前進に
を深め、
企業体質
を深め、
運動の前
の前進に
を深め、
企業体質
を深め、

総行動の成功に向け、2日間「社前座り込み」

9月8日-10:00~13:00 9日-10:00~13:00



今秋から
な社前
支援・ご
ねて訴え

「9・10東京地評争議支援総行動」
で、明治HD社前が昼メーン行動とな
りました。
支援共闘会議と争議団は、この行動
を、「10・22全労連争議支援総行
動」の社前行動に連動させる、年内を
見通した重要行動と位置づけ、総行動
の前2日間（8〜9日）に「HD社前
座り込み」
を配置し
ました。
死亡災
害の続発
や止まら
ない不祥事、
そして、
不当労働
行為・差
別の「や
り得」を
決め込む、明治乳業の反社会的企業体
質を孤立させ、長期争議全面解決への
局面打開をめざす、



明乳争議団は、3月の「食品 支援ご協力で成功させ、異常な
一般ユニオン」結成を契機に、企業体質を剥きだしに頑なな態
新たな水準での会社包囲をめざ 度に固執する、明治乳業と親会
し奮闘しています。この間、第 社「明治HD」を包囲する闘い
1回明治HD株主総会（6月29 日に全力で取り組んできました。
日）を節目と位置づけ、明治製 特に、関西支援共闘会議では、
菓全国6事業所一斉宣伝・要請 明治乳業関西支社に対し多くの
行動や、明治乳業全国事業所宣 団体が独自の要請内容で波状的
伝・要請行動を、各地の厚いご 要請行動（6月15日）を展開

全国行動の成功を土台に 「明治HD」攻めに全力！

一層のご支援を お願いします

詩集

みすゝからうらゝへ

もりかわ うらゝ

いのちつないでつながって

金子みすゝに触れたとき、
私の中から詩が生まれた

文芸社 から出版 1,470円
注文は携帯から03-6739-0711

ひたむきに生きる小さないのちへの共感。
社会に対してまっすぐに向き合う仲間への励ましと社会批判
素朴なことばかり伝わるやさしさとみずみずしい感性が、読む人をつつみ込む詩集。



が、争議団一同一日も早い争議解決を
勝ち取り、墓前に報告する決意です。
皆さんの一層のご支援を重ねてお願
いいたします。

前々号の「団員の横顔」でご紹介しました。全国争議の大
阪申立人である伊達修さんが、去る8月1日療養もむなし
く逝去されました。
8月3日に行なわれた告別式で、出棺を前にして家族を代
表してご挨拶された奥様のお礼の言葉を一部紹介させていた
だきます。「一週間ほど前のことですが、一俺は会社で差別
されまわったく評価されることがなく、人間として扱ってら
えなかった。しかし、いい仲間達に恵まれ、今日まで闘って
きた。争議が解決しなくて思いは残るが、いい仲間達にめぐ
り合えて本当に幸せだった。私は夫の遺言だと受け止め
ています。皆さん、本当にありがとうございます」と。
私たちが無念でなりません。
ただただ、ご冥福を祈るばかりです
が、争議団一同一日も早い争議解決を
勝ち取り、墓前に報告する決意です。
皆さんの一層のご支援を重ねてお願
いいたします。

訃報

明乳争議支援をメーンとする ‘10埼玉救援美術展’

日時 11月1日(月) 10:00
~4日(木) ~20:00

◎レセプション11月1日18:00~
初日は正午開場
最終日18:00まで

埼玉教育会館2Fホール

主催
‘10埼玉救援美術展実行委員会
連絡先
日本国民救援会埼玉県本部
TEL 048-833-9991

団員の 横顔

市川工場事件の「カトチャン」こと
加藤繁敏です



追加申立などの資料作成、併せて証
人に必要な証拠関係の作成など地道
な実務作業の中心的役割を一手に担っ
ているカトチャンです。

和38年に明治乳業市川工場に入社しました。当時
過酷な労働の中から労働組合活動に芽生えました。当時
の労働組合市川支部は、青年労働者が圧倒的に多く文化体
育部活動に力を入れる中で各種サークルもつくられました。
カトチャンは野球愛好者達で「ジャガーズ」というチー
ムをつくり、キャッチャーのポジションでチームの要で活
躍していました。
カトチャンは、温和で決してことを荒げることもなくい
つもニコニコと中を取り持ち、雰囲気や和らげ人への気配
りもきめ細かく自然体で出来る好人物です。
争議団の一員に加わり職場活動をするカトチャンに、あ
る職制が「立派な髭を蓄える」風貌に、お前の髭は10年早
いと妬ましく思わせたエピソードもある。
争議団の役割では、労働委員会、裁判闘争に欠かせない
賃金格差の推移の整理や年度ごとの

都労委審問日程 都庁34階審問室

◎ 9月15日(水)
午後2時~4時

◎ 10月18日(月)
10時~12時

◎ 10月26日(火)
午後1時30分
~3時30分



ご支援よろしく
お願いします。

会社主張

「アラ探し」に法的意味はない 相対評価の無い

明治乳業差別「全国事件」の都労委審問が7月27日に開かれ、田巻会社側証人への主尋問がおこなわれました。今後、会社側の個別立証が順次おこなわれていきますが、その前段として差別を合理化する人事諸制度の立証が行われたものです。

証言は、明治乳業の人事でも説明のつくものではない。制度がいかにも合理的なものにみせようとした。職務遂行であり、公正・公平に運用された能力などと言う抽象的判定されているかがくり返され、昇給・昇格は勤務振りに応じた処遇であり、なんの不具合もなく差が生じるのは当然であるなどといふ、職分・賃金・人事考課など諸人事制度の正しさを印象付けようとするものでした。

「差別は真実」と公正を装う

全国争議 都労委

人事制度は、労働組合と協議してできたものであり、また、先行した「市川事件」の命令・判決でも合理性が評価されているなどと強調しましたが、労使協調路線を歩む労組との合意であり、市川事件からの引用などは、会社にとって都合の良い部分のみを力説し、傍聴者の失笑を買う場面も多々ありました。



明治乳業関西支社に「争議解決を求める」要請行動を展開！

6月15日に行われた関西支社前行動には、大阪民主医療機関連合会、大阪商工団体連合会、新日本婦人の会大阪府本部、食糧を守り日本農業の再建を進める大阪府民会議、生協労連大阪府連合会、福祉保育労大阪地方本部、大阪医療労働組合連合会など、乳業産業と密接な関係をもつ団体の皆さんがそれぞれの立場から要請に向かれました。



関西支社に向けて抗議のシュプレヒコール

「私達は、子どもたちに安心して飲んでもらえる牛乳であってほしいと思つて来たのに、話しも聞いてもらえない」「福祉保育労」 「安全・安心な商品である」「医療の現場に牛乳・乳製品は欠かせない食品。そうした医療現場、消費者の声も聞かないというのが明治乳業の方針でしようか」(大阪府民連・医労連)



明治HD株主総会で「事前質問書」への回答迫る

親会社明治HDの第1回株主総会が、去る6月29日「ザ・プリンスパークタワー東京」(港区)で開催されました。支援共闘会議と争議団は、経営統合後の株主総会として重視し、賛同株主55名の連名で22項目の「事前質問書」を作成。6月15日には、代表者3名が明治HD本社を訪問し、応対した総務グループ長に「事前質問書」を手渡し、要旨説明を行うと同時に総会での誠実な対応と回答を求めました。

全ての質問項目が、避けては通れない 明治HDの重要課題

質問書の骨子は、①子会社「明治乳業」での長期労働争議の解決を求める質問(6項目)。
②経営統合によるグループ再編から生活・諸権利を守る質問(6項目)。
③死亡災害に関する質問(3項目)。
④国内酪農の維持振興を求める質問(4項目)。
株価低迷と役員報酬開示に関する質問(3項目)の22項目です。どの質問項目も、明治乳業及び明治HDが消費者・国民の信頼を得て、健全な「食と健康」総合企業グループとして飛躍するためには、避けて通ることのできない課題です。特に、異常な



総会会場前で宣伝

明治乳業の異常体質を踏襲した対応と答弁に終始

総会では、各質問項目に沿って関係担当役員が答弁。争議問題では、明治乳業の金子人

事部長及び浅野社長が答弁に立ち、「司法で会社主張が認められている。今後も司法判断に従って対応する」という、従来からの姿勢を繰り返し強調するに止まりました。会場発言は全体で15名でしたが、こちらの発言は、支援共闘会議の永瀬事務局長と争議団の小関団長の2名だけで、多数の挙手がありました。が正午をもって、議長(佐藤社長)が一切の発言を封じ強引に閉会としたのです。閉会直後、退場する役員に向かって「これが開かれた株主総会か、もつと株主の声を聞け！」と大声で迫っていた、見知らぬ株主の訴えが印象的で、明治HDの異常な体質を浮き彫りにする閉幕となりました。

「明治乳業争議の原点は何か」松本 悟千葉労連議長 全労連大会で発言



歴史的な60年安保闘争が原点です。安保闘争に危機感を抱いたアメリカと財界は、二度と再びアメリカにタテをつかせないため、大企業のみならず労働組合運動に支配介入し乗っ取り、大企業が支配する労働組合に変質させました。すなわち、ケネディ・ライシヤワー路線です。この流れの中で明治乳業争議は発生しました。当時、千葉県市川工場では、会社はインフォーマル組織をつくり、不当労働行為により支部執行部を乗っ取りました。乗っ取ったあとは、人事考課の名目で徹底的に「赤組」にたいし賃金差別を強行しました。

国鉄闘争の次は 明治乳業争議です

大阪工場では、40年間正規社員として働き、近年退職された糸賀さんの定年時の基本給は15万円台、手取り18万円台でした。糸賀さんを一回も昇格させませ

んでした。まさに現在のワーキングプアです。新自由主義、市場原理主義に基づく政治が、労働者をモノ扱いし、格差と貧困を生み出し、社会を壊しています。今求められていることは新自由主義と決別し、ルールある経済社会、とりわけはたらくルールを確立することです。そのためには、大企業に社会的責任を果たさせる必要があります。明治乳業は、争議団からの電話も取り次がない、要請書も受け取らない、もちろん話し合いにも応じない。こんなブラック企業を放置しておいていいのでしょうか。闘いの局面は、今年から来年が山場です。すでに争議団のうち、7人がたたかい半ばで亡くなっています。無念です。これ以上の長期争議は人道にも許されません。このたたかいは、ケネディ・ライシヤワー路線にケリをつけるたたかいです。すでに、国鉄争議も政治的和解にこぎつけました。次は、明治乳業争議です。今、争議団のメンバーも加わって食品一般ユニオンを立ち上げ、攻めのたたかいは行っています。明治乳業を話し合いのテーブルにつかせるため、これまで以上に、ご支援のほどよろしくお願ひします。

本人の了解を得て一部割愛編集させて頂きました。